



## 次期勘定系システム基盤のクラウド化について ～地銀共同センターで国内初のバンキング専用国産クラウドの適用を決定～

京都銀行（頭取 安井 幹也）は、地銀共同センター<sup>※1</sup> 参加行とNTTデータとともに、国内初となる共同利用型勘定系システムのクラウド化に向けた共同検討を、2022年から行ってまいりました。

今般、NTTデータが開発を始めるオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」について、2028年1月から地銀共同センターでの適用を決定しましたのでお知らせいたします。

### 記

当行を含む地方銀行13行が参加する地銀共同センターでは、NTTデータとともに次期勘定系システム基盤の検討を進めてきました。この度、2028年1月を目途に国内初のバンキング専用国産クラウド上に勘定系システム基盤を適用・構築し、オープン化による勘定系システムの軽量化を図るほか、戦略領域への経営資源の集中化を目指します。

本件は、地方銀行6行からなるMEJAR<sup>※2</sup>との共同研究会「CMS-WG<sup>※3</sup>」の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取り組みの一環で、本年1月に勘定系システムをオープン化したMEJARの先行事例等も取り入れ、安心・安全なシステム移行を目指します。

以上

### <ご参考>

#### 地銀共同センター参加行（13行）



#### MEJAR参加行（6行）



※広島銀行は2030年度共同利用開始予定

- ※1 地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。  
※2 MEJAR…NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。  
※3 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）…システム関連で親和性のある両センターがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場。